

7番（小川義昭君）

今ほど買い物弱者などによる生活の足、そういったことについての答弁をいただきました。

北陸鉄道、それから県タクシー協会、さらには今ほど、来年度からJR西日本との連携をとられるということ、こういったことについては、大変喜ばしいことだと思います。

しかし、先ほどから申しておりますように、今後この高齢者のいわゆる生活の足確保、これは、本当に本市にとっても大きな課題かというふうに思います。これは、この松任旧町に限らず、白山市全体における大きな課題かなというふうに思います。

そこで、今後さらなるめぐる運行経路の研究や、そして、今ほど市長からの答弁がありましたように、町なかに民間企業による新規店舗の出店がふえるよう、積極的な働きかけや市の支援策のさらなる充実に努めていただきたいというふうに思います。

ちょっと私、見ておきますと、京都府の京丹後市では、一般の人が運転手となって安い運賃で高齢者を運ぶ「ささえ合い交通」ですか、こういったものに取り組んでいるということを知っておりますので、またこういったこともいろいろと全国的にも先進市の事例があると思いますので、このことについても、少し御研究願えればなというふうに思います。

そして、今ほど市長のほうから民間の具体的な、ちょっと驚いたんですけども、CCZ温泉への送迎を指定管理者が試験的に行うというような答弁をいただいたんですけども、できれば、このルートや時期についてわかれば、もう少し具体的に御説明願えれば幸いかというふうに思います。